

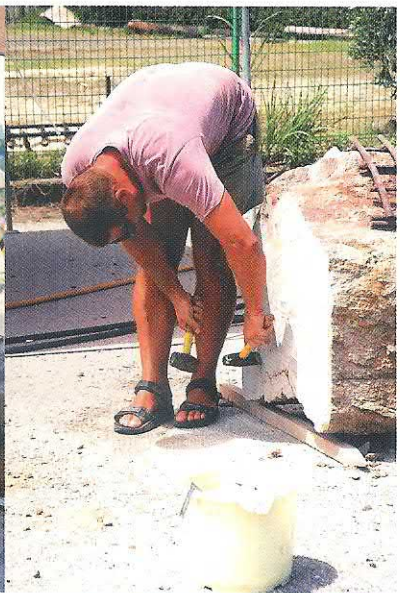
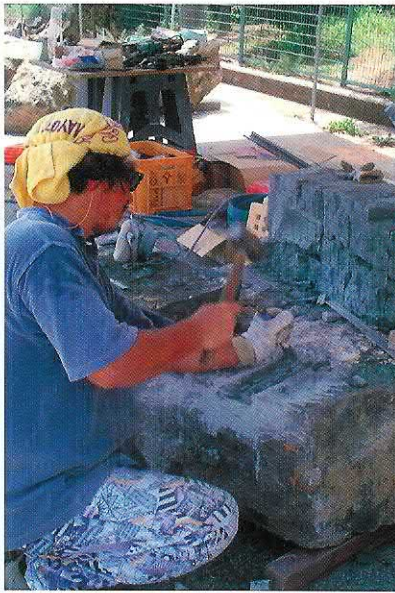
世界の彫刻家が珠洲石(安山岩)を彫る

'02国際石彫シンポジウムin珠洲

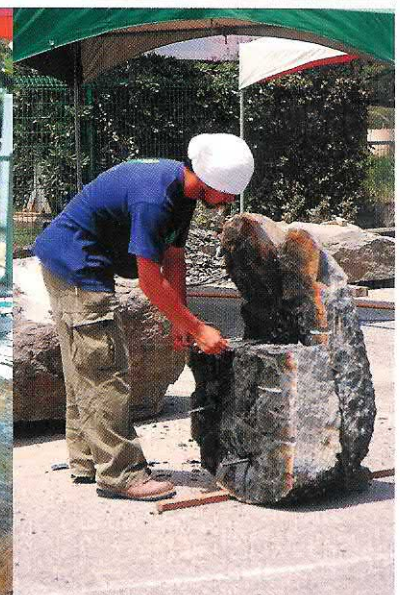
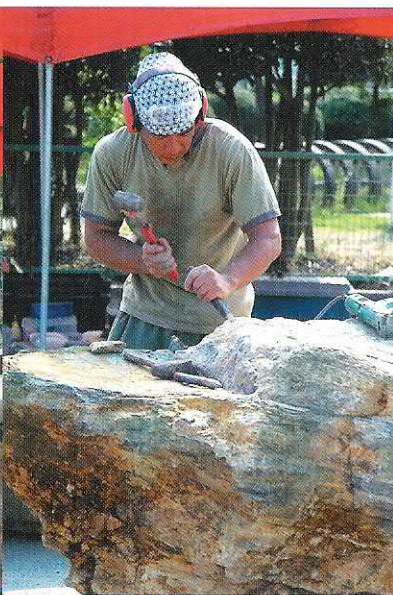


'02 International Stone-Sculpture Symposium in Suzu

珠洲国際石彫シンポジウム実行委員会



'02 International Stone-Sculpture Symposium in Suzu





'02国際石彫シンポジウムin珠洲

< 参加作家 >

PARK CHAN-KAB

パク・チャンカ (韓国)

池上 奨

イケガミ・ススム (日本)

GEORG MICHAEL MIKS

ゲオルグ・マイケル・ミクス (オーストリア)

PETER BERGER

ピーター・ベルガー (オーストリア)

肱元 伸

ヒジモト・シン (日本)

八十島 海斗

ヤソジマ・カイト (日本)

期間 2002年**7月21日**(日)～**8月8日**(木)

会場 飯田町飯田港埋立地 (夢の未来まちづくり株式会社 横)

オープニングセレモニー

7月21日(日)

親子石彫教室

8月 4日(日)

完成披露パーティー

8月 8日(木)

'02 International
Stone-Sculpture
Symposium in Suzu



珠洲国際石彫シンポジウム実行委員会会長
泉谷 信七

珠洲市で採掘された石「安山岩」を使って、原石が作品として完成するまでの公開作品展、「'02国際石彫シンポジウムin珠洲」を開催いたしました。この石彫シンポジウムは、国内外の作家達による公開制作を通じた市民レベルの国際交流であると思います。期間中の公開制作によって人々が次々と集まり、時間をかけて彼らの背景を理解するとともに作品に対する姿勢、提案などを密接に共有していく。それと同時に、我々のアイデンティティーについて考える機会を得るものであります。アートを通じた交流によって、我々は失いつつある精神性を取り戻し、さらに造られた作品は、現代社会に活力を与え、我々の精神を癒していくものとなります。

今回は、珠洲石「安山岩」を使って、まったく新しい芸術作品に挑戦している6人の彫刻家達は、珠洲を踏まえた景観と日本人が本来持っている芸術感の再認識、そして国際性をテーマに、珠洲に集まって来た意義を問い、責任ある答えを作品に表わしているのだと思います。

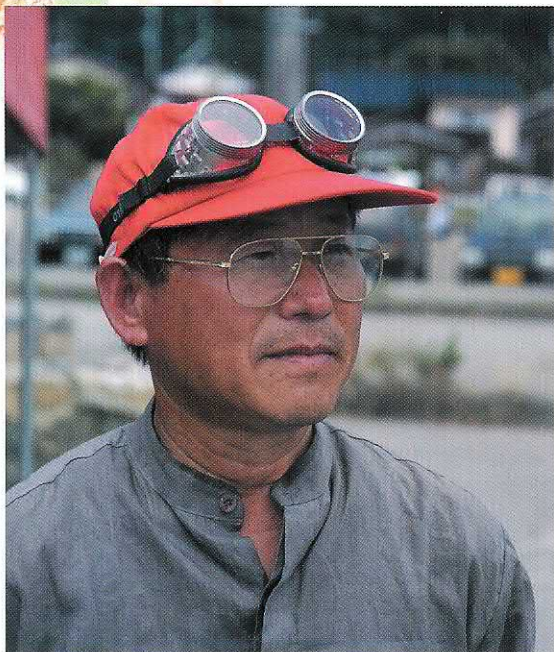
我々はここに誕生した作品を黒輝石と名づけ、珠洲市の新しい産業として努力して行きたいと思っています。

最後に、本事業に協力いただきました、彫刻家をはじめ、御支援、御協力をいただきました市民の皆様、企業の皆様に心より御礼申し上げ、ごあいさつと致します。





参加作家・作品介绍



title

ARIRANG

PARK CHAN-KAB

パク・チャン-カ (韓国)

第3回国際彫刻コンクール優勝('97)ーアルゼンチン、ロザリオ市
第1回国際彫刻シンポジウム大賞受賞('98)ーペルー、リマ市
第4回国際彫刻コンクール大賞受賞('98)ーアルゼンチン、ロザリオ市
青年教育文化賞受賞('99)

フランスで行われた第5回国際石彫シンポジウムで大賞受賞

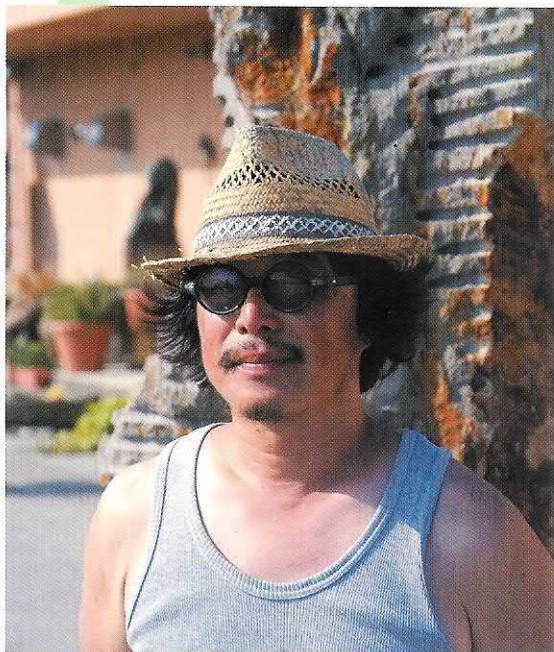
第2回スウェーデンルレアで大賞受賞

- ・韓国国際彫刻協会会長
- ・韓国仏教芸術家協会代表
- ・韓国ーデンマーク芸術協会代表
- ・国際彫刻友好協会代表
- ・ソウル総合大学客員教授

2001年 フランス大統領の招待を受けてルーブル美術館で特別展示会開催

2002年 韓国文化芸術協会に大芸術家として選ばれる





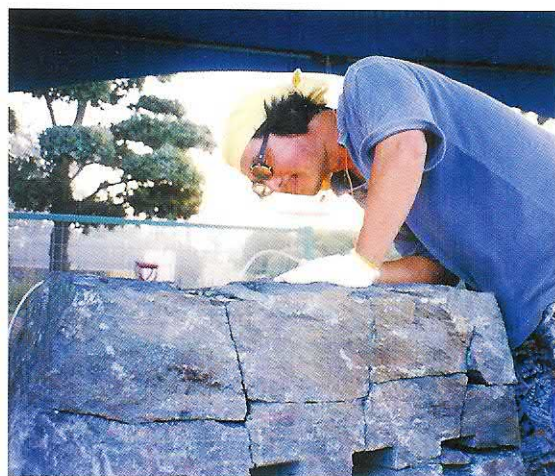
title

incubate stone

池上 奨

イケガミ・ススム (日本)

- 1957年 金沢市生まれ
- 1982年 金沢美術工芸大学美術学科彫刻専攻 卒業
- 1984年 金沢美術工芸大学大学院 修了
- 1990年 アートヒル三好丘グランプリをかわきりにその他コンクールで受賞
- 1995年 公募彫刻in能生・個展・神戸芸術村ArtistCamp参加
- 1996年 神戸芸術村ArtistCamp・エストニア国際シンポジウム
世界文化遺産菅沼合掌集落モニュメント
能登三郷多目的ホールモニュメント個展(東京フタバ画廊)
イサク工房展(名古屋 ギャラリーナイトウ)
現代アートの表象展(金沢市民芸術村)
- 1997年 能登ゆかりの作家展(石川県立七尾美術館)・EST II(石川県立美術館)
花蓮国際石彫刻展(台湾)・個展(東京 フタバ画廊)
インパクトアートフェスティバル(京都)・七尾国際シンポジウム
個展(金沢 バルク片町)
- 1998年 金沢市立工業高校に作品設置・個展(金沢アートサロン大和)
津幡町井上の荘に作品設置・Beeld Houwous Sympsivm(オランダ)
石川選抜美術展98・浜松市高丘町にモニュメント設置
- 1999年 宮崎現代彫刻空港展(宮崎)・国際ブルーストーンシンポジウム(ベルギー)
個展(東京 フタバ画廊)・金沢現代彫刻展





title

BIRDMAN II

PETER BERGER

ピーター・ベルガー（オーストリア）

1954年5月16日

オーストリア、チロル、インスブルックに生まれる

オーストリア、ウィーン在住

オーストリア芸術彫刻家協会会員

IGビジュアルアーティスト会員

国際芸術協会会員

Lindabrunn & Valle Luminoso シンポジウム会員

Kunstsommer Bright 'N' Furt('97)ーオーストリア

Medzinarodne Socharske Sympozium Kosice('97)ースロバキア

ウィーンYoung大学EU彫刻家ワークショップ('98)ーオーストリア

Mezinarodni Vytvarne Symposium Kunstat('98)ーチェコ

"Blindlicht" Grafenschlag ランドアートシンポジウム('99)ーオーストリア

"Eile Zur Meile" Grafenschlag ランドアートシンポジウム('99)ーオーストリア



title

FOLDED STONE





title

head 4/type "tono"

GEORG MICHAEL MIKS

ゲオルグ・マイケル・ミクス (オーストリア)

8月4日 オーストリア、ウィーンに生まれる
 リンダブルンシンポジウムに参加('90,'91,'93,'94,'95,'96)
 '94年以降、リンダブルンシンポジウムの組織改善に参加
 スコットランド彫刻ワークショップ('92,'93,'95)ーイギリス
 3カ国シンポジウム in Rusovce('92)ースコットランド
 ウォータースプリングスシンポジウム in OSRIBLIE('96)ースコットランド
 Brighn'Fort 芸術プロジェクト講師('97)ーオーストリア
 Banska Stiavica 木彫シンポジウム('97)ースコットランド
 Basalt-Lava シンポジウム in Lapida('97)ードイツ
 Glafenschlager Kunstwochen Wacivuertel('99)ーオーストリア
 弘前市まちづくりプロジェクトコラボレーション('99)ー日本





title

Vector in Suzu

肱元 伸

ヒジモト・シン (日本)

- 1968年 神奈川県横須賀市に生まれる
- 1993年 玉川大学文学部芸術学科卒業
- 1998年 5人展 横浜ギャラリーミロ
- 1999年 個展 横浜ギャラリーミロ
- 2000年 個展 横浜ギャラリーミロ
- 2001年 グループ展 松本 深志ギャラリー
- 1996年
- く
- 2001年 厚木市 野外彫刻展
- 1997年~ 一陽展(特待賞3回・一陽賞)
- 2001年 一陽会会友推挙





title

bird

八十島 海斗

ヤソジマ・カイト (日本)

- 1979年 5月、茨城県に生まれる
- 1999年~ 毎年東京都美術館行動展出展
- 1999年~ 金沢現代彫刻展
- 2000年 キリンビアパーク野外彫刻コンクール佳作
- 2002年 金沢美術工芸大学美術学科彫刻専攻 卒業
金沢の杜の里に彫刻設置
メキシコへ渡航





オープニングセレモニー



石彫教室



親子石彫教室



作業風景



制作風景



完成披露パーティー



新聞記事

商店街飾る石の彫刻

珠洲・飯田
でシンボ 6人が公開制作に汗

珠洲産安山岩を用いた「新聞社後援」の公開制作彫刻作品で同市飯田町商は二十二日、飯田港埋め店街を飾る「石彫シンボ」立地で始まり、海外のジウムin珠洲」（北國彫刻家を含む六人がイメ



珠洲産安山岩で作品づくりに励む彫刻家
珠洲市飯田町

作に取組んだ。公開制作には、パク・チャン・カさん（韓国）のほか、ゲオルグ・マイケル・ミクスさん（オーストリア）、ピーター・バーガーさん（同）、池上爽さん、朧元伸さん、八十島海斗さんが参加した。国際的に活躍する六

人は重さ約一トンの安山岩の塊を使い作品作りに励んだ。制作は八月七日まで行われ、八日に完成披露パーティーが開かれる。期間中の八月四日には、商店街で親子石彫教室が実施される。

北國新聞 8月5日

珪藻土の彫刻に挑戦

珠洲で
親子教室



八日まで開催中の「石彫シンボジウムin珠洲」（本社後援）の参加作家による親子石彫教室は四日、珠洲市飯田町商店街で開かれ、参加した親子ら約二十人が珪藻土を使った彫刻に挑戦した。写真教室は彫刻の魅力に触れながら珠洲特産の珪藻土に理解を深めてもらおうと行われた。石彫シンボ参加の彫刻家四人が彫刻刀などの使い方を説明した後、参加者は思い思いに珪藻土の塊を削り、将棋のこまや花瓶などの制作に取り組んだ。

北國新聞 8月9日

石彫の力作完成

珠洲のシンボ



写真六点は日本、オーストリア、韓国の若手彫刻家六人が先月二十二日から珠洲産の安山岩を用いて制作した。

式典では、泉谷信七同協組理事長があいさつ、木之下明市収入役、檜原薫市文化協会長が祝辞を述べた。この後のパーティーで、出席者は彫刻家たちを囲んで歓談の輪を広げた。作品は今後、商店街の一角に展示され、近くに展示された石彫作

'02 International Stone-Sculpture
Symposium in Suzu

平成14年9月発行

発行：珠洲国際石彫シンポジウム実行委員会
企画：株式会社ティムスプランニング

**'02 International
Stone-Sculpture
Symposium in Suzu**